

武蔵野市の将来人口推計（平成 30（2018）年～平成 60（2048）年）

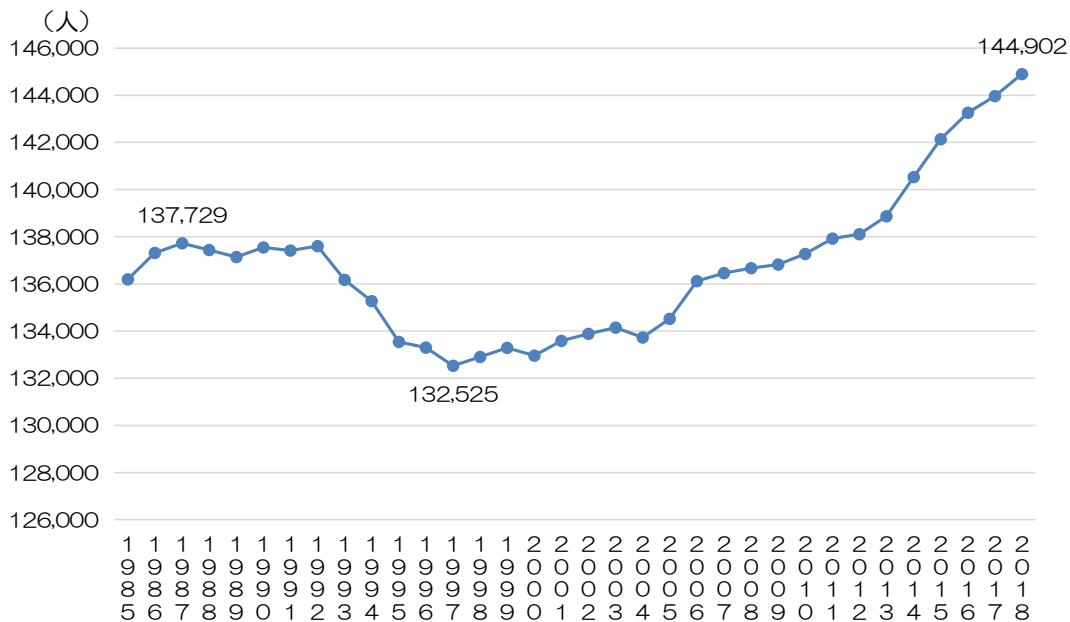
について【速報版】

1. 人口の現状について

（1）総人口

総人口は、昭和 62（1987）年に 137,729 人に達した後、平成 9（1997）年には 132,525 人まで減少した。その後、再度増加基調に移り、平成 30（2018）年には 144,902 人となっている。

図表 1 総人口の推移



注釈) 各年 1 月 1 日の住民基本台帳人口。ただし、平成 24（2012）年以前は住民基本台帳人口に外国人人口が含まれていないため、前年末の外国人人口を加算している。

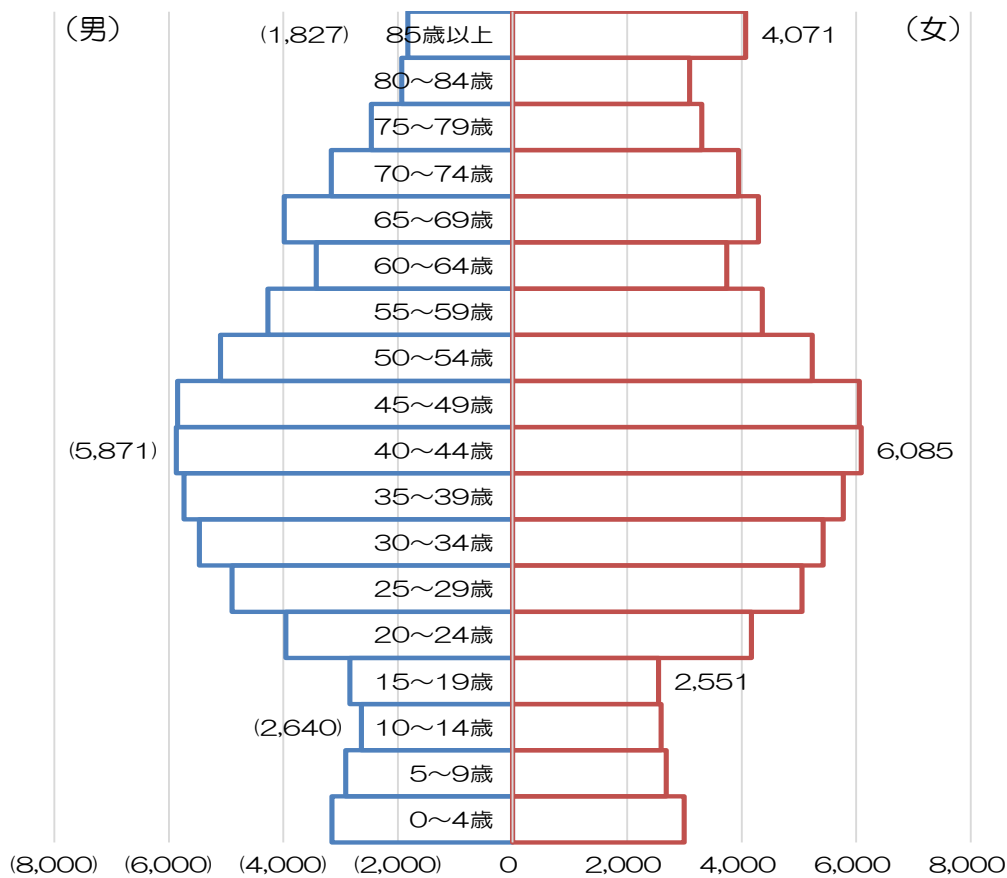
(2) 性別年齢別人口

性別年齢別人口は、平成 30 (2018) 年において、男女ともに 40 歳代人口が多く、10 歳代人口が少なくなっている。また、高齢になるほど、男性人口に対して女性人口の比率が高くなっている。

次に、65～69 歳と 40 歳代の部分で隆起が見られることから、第一次ベビーブーム世代 (68～70 歳、1947～49 年生まれ) 人口や第二次ベビーブーム世代 (43～46 歳、1971～74 年生まれ) 人口が多くなっていることがわかる。

また、10～14 歳人口に比べて 5～9 歳人口が多く、5～9 歳人口に比べて 0～4 歳人口が多くなっており、ここ 10 年間ほどで出生数が上昇していると考えられる。

図表 2 5 歳階級別人口ピラミッド (平成 30 (2018) 年)

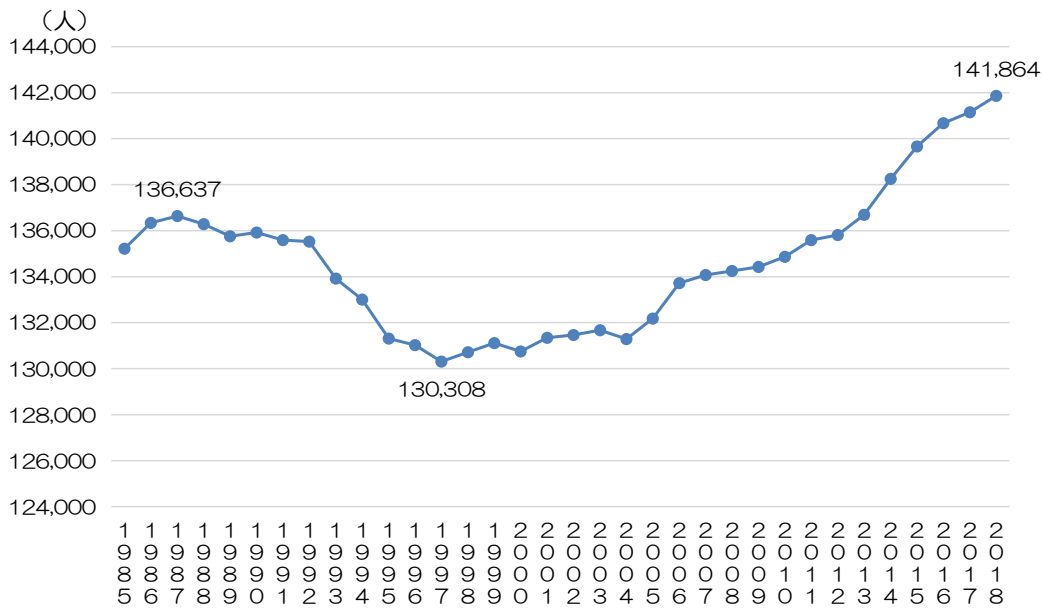


注釈) 平成 30 (2018) 年 1 月 1 日の住民基本台帳人口。総人口。

(3) 日本人人口

日本人人口は、総人口と同様の傾向で推移しており、昭和 62（1987）年に 136,637 人に達した後、平成 9（1997）年には 130,308 人まで減少した。その後、再度増加基調に移り、平成 30（2018）年には 141,864 人となっている。

図表 3 日本人人口の推移

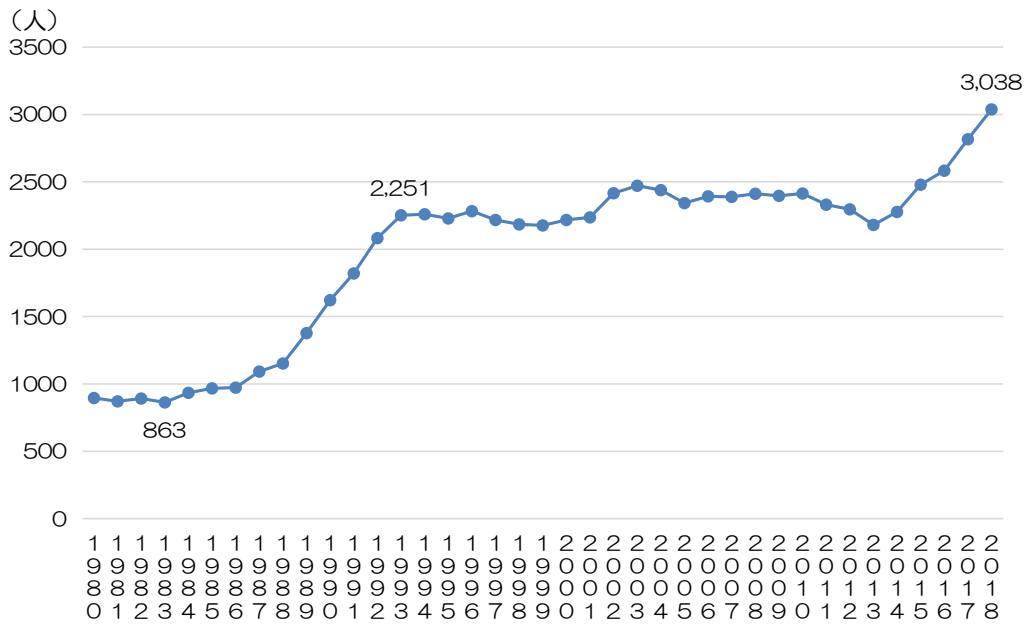


注釈) 各年 1 月 1 日の住民基本台帳人口から外国人人口を差し引いた人口。ただし、平成 24（2012）年以前の住民基本台帳人口には外国人人口が含まれていないため、住民基本台帳人口をそのまま用いている。

(4) 外国人人口

外国人人口は、昭和 58（1983）年には 863 人であったが、その後増加し、平成 5（1993）年には 2,251 人となった。その後、約 20 年間ほぼ横ばいで推移した後、再度増加基調に移り、平成 30（2018）年には 3,038 人となっている。

図表 4 外国人人口の推移



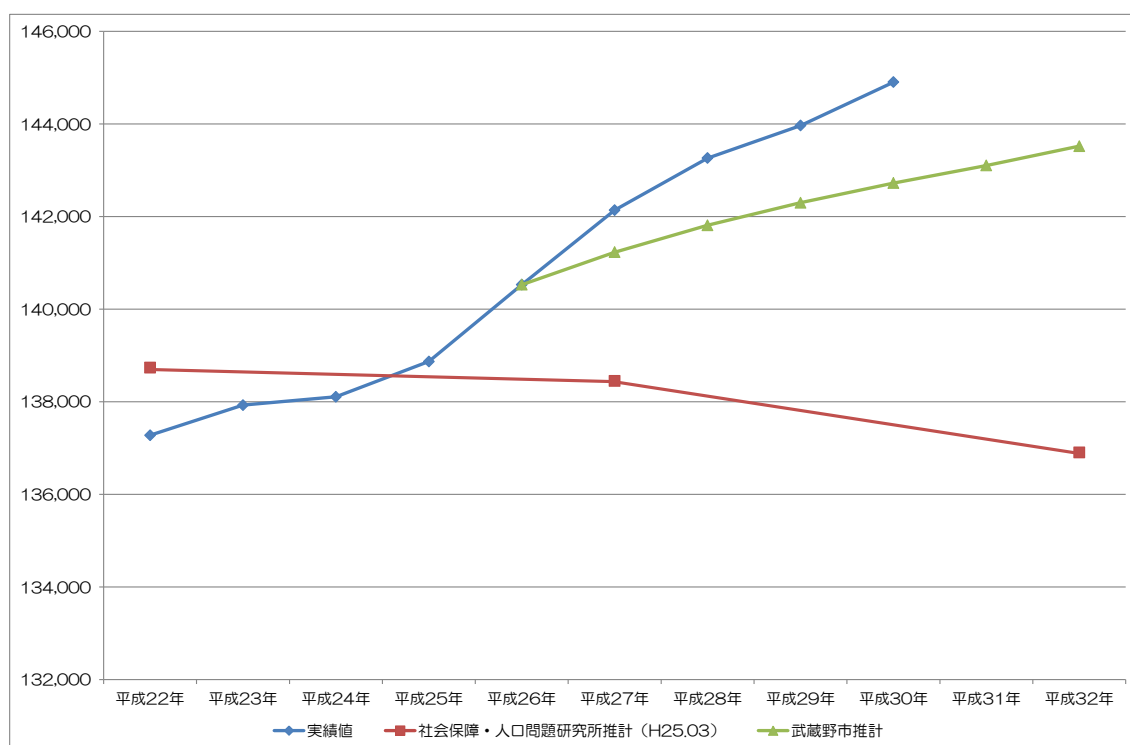
注釈) 平成 24（2012）年以前は住民基本台帳人口に外国人人口が含まれていないため、前年末の外国人人口をもって表記している。

(5) 前回（平成26（2014）年時点）の将来人口推計と実績値の推移

国立社会保障・人口問題研究所によれば、武蔵野市の人口は緩やかな減少期にあり、継続的に減少していくという見通しとなっていた。一方で、武蔵野市では、独自推計によって平成26(2014)年以降も人口は増加するという見通しを立てている。

その後の実績をみると、平成26（2014）年に武蔵野市が立てた見通しをすら上回る速度で増加している。基準人口から4年間が経過した平成30(2018)年度時点での乖離状況は、2,180人(1.5%)の過小推計であり、当時の見通しとは異なる状況が生じている。

図表5 前回（平成26（2014）年時点）の将来人口推計と実績値の推移



					基準人口	推計人口						
	2010 平成22年	2011 平成23年	2012 平成24年	2013 平成25年	2014 平成26年	2015 平成27年	2016 平成28年	2017 平成29年	2018 平成30年	2019 平成31年	2020 平成32年	
社会保障・人口問題研究所（平成25年3月）	138,734					138,446					136,903	
武蔵野市推計（平成26年時点）					140,527	141,230	141,809	142,297	142,722	143,100	143,519	
実績値	137,275	137,926	138,106	138,868	140,527	142,138	143,262	143,964	144,902			

資料）武蔵野市資料、「日本の地域別将来推計人口」（平成25（2013）年3月推計）より作成

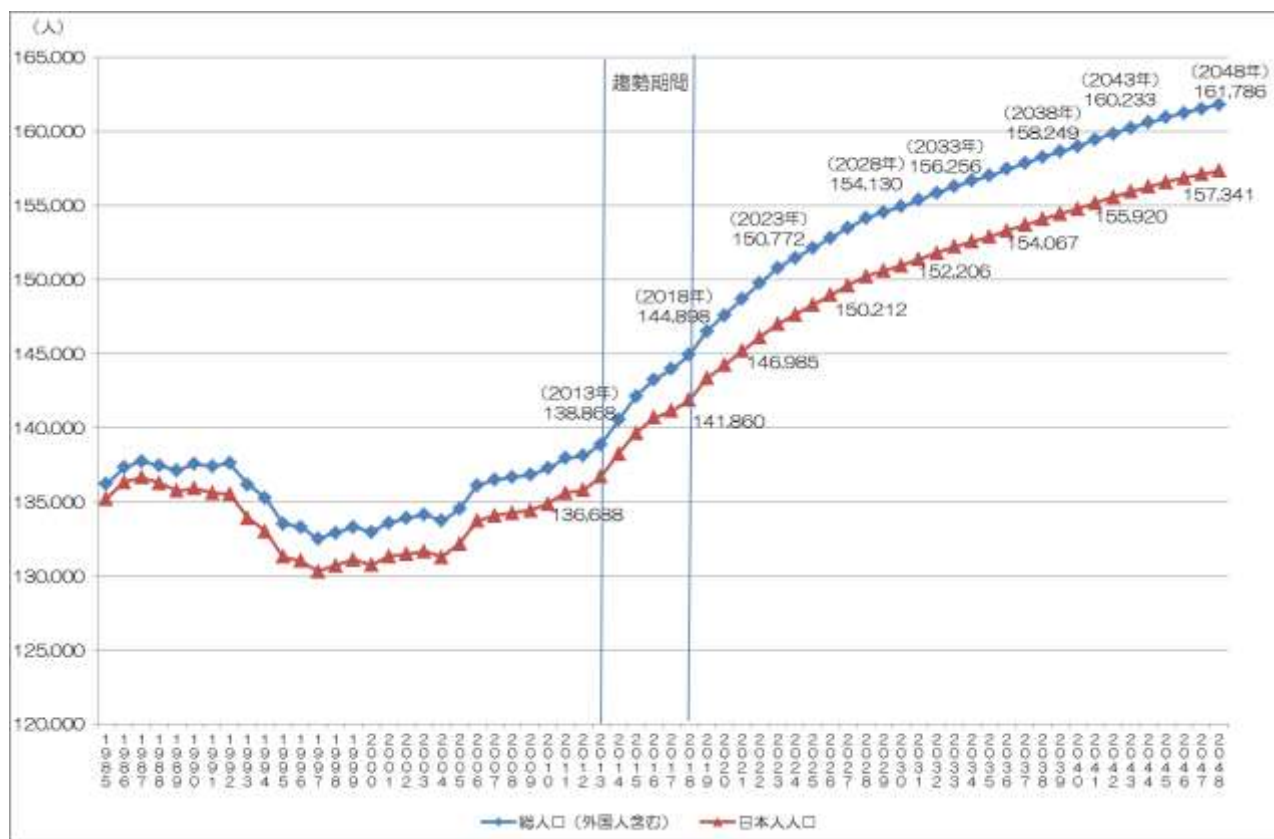
2. 推計結果

(1) 総人口及び日本人人口

平成 30 (2018) 年推計においては、趨勢期間を平成 25 年 (2013) 以降に設定し、日本人と外国人を分けて推計した。

総人口は5年後の平成 35 (2023) 年には 150,772 人と 15 万人を突破し、推計最終年次の平成 60 (2048) 年で 161,786 人となると見込まれる。

図表 6 将来人口（総人口及び日本人人口）



注釈) 各年 1 月 1 日時点の住民基本台帳人口。

(2) 設定

①基準人口と趨勢期間の設定

基準人口としては、住民基本台帳に基づく平成 30 (2018) 年 1 月 1 日現在の数値を採用した。平成 24 (2012) 年 7 月 9 日以降、外国人住民に係る住民基本台帳制度が導入され、いわゆる住民基本台帳人口、登録人口は、日本人と外国人の合計値となった。平成 24 (2012) 年以前は外国人人口の基準が 12 月 31 日であったり、性別年齢別人口が公表されていないことから、平成 25 (2013) 年以降をもって趨勢を設定するための期間として用いることとした。

②出生要因の設定

趨勢期間のうち、東京都人口動態統計で母年齢別出生数が公表されている平成 25 (2013) ~28 (2016) 年の実績に基づいて武蔵野市の母年齢別出生率を算出し、社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 (平成 30 (2018) 年 3 月推計)」における本市の将来子ども女性比の変動にあわせて将来を設定した。ただし、平成 30 (2018) 年までの子ども女性比は実績値を用いた。出生性比は、同じ期間の実績に基づいて 107.9 と設定し、将来にわたって一定とした。

図表 7 母年齢別出生状況

母年齢	2013 平成25年	2014 平成26年	2015 平成27年	2016 平成28年	期間平均 出生数	期間平均 女子人口	期間平均 出生率
15-19歳	4	1	0	2	2	2,541	0.0007
20-24歳	35	31	33	30	32	3,964	0.0081
25-29歳	234	257	241	228	240	5,282	0.0454
30-34歳	527	509	535	512	521	5,887	0.0885
35-39歳	378	403	400	390	393	5,985	0.0656
40-44歳	87	93	105	112	99	6,176	0.0161
45-49歳	2	5	3	2	3	5,445	0.0006
総数	1,267	1,299	1,317	1,276	1,290	期間の合計特殊出生率 =1.125	
男	665	646	686	680	669		
女	602	653	631	596	621		
出生性比	110.5	98.9	108.7	114.1	107.9		

注釈) 本調査時点での人口動態統計の最新値は平成 28 (2016) 年である。

資料) 東京都「人口動態統計」より作成

③死亡要因の設定

趨勢期間のうち、東京都人口動態統計で性別年代別の死亡者数が入手可能である平成 25(2013)～28(2016)年の4年4期の実績に基づいて武蔵野市の性別年齢別死亡率（生残率）を算出し、社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30(2018)年3月推計）」における武蔵野市の生残率の変動にあわせて将来を設定した。

図表 8 性別年齢別死亡（生存）状況

男	死亡数				期間平均	期間平均人口	期間平均死亡率	期間平均生残率	5年生残率
	2013 平成25年	2014 平成26年	2015 平成27年	2016 平成28年					
総数	570	562	572	555	565	67,810	0.0083	0.9917	0.9590
0-4	0	1	4	0	1	2,998	0.0004	0.9996	0.9979
5-9	0	0	0	0	0	2,654	0.0000	1.0000	1.0000
10-14	0	0	0	0	0	2,589	0.0000	1.0000	1.0000
15-19	0	2	0	0	1	2,742	0.0002	0.9998	0.9991
20-24	3	2	1	0	2	3,832	0.0004	0.9996	0.9980
25-29	4	1	4	4	3	5,073	0.0006	0.9994	0.9968
30-34	2	2	2	0	2	5,919	0.0003	0.9997	0.9987
35-39	3	4	2	3	3	5,964	0.0005	0.9995	0.9975
40-44	7	4	6	4	5	5,932	0.0009	0.9991	0.9956
45-49	13	7	7	10	9	5,394	0.0017	0.9983	0.9915
50-54	10	9	10	18	12	4,602	0.0026	0.9974	0.9873
55-59	20	16	23	15	19	3,791	0.0049	0.9951	0.9758
60-64	26	29	26	26	27	3,871	0.0069	0.9931	0.9659
65-69	43	42	56	42	46	3,796	0.0121	0.9879	0.9412
70-74	48	73	69	56	62	2,930	0.0210	0.9790	0.8993
75-79	86	84	56	70	74	2,346	0.0315	0.9685	0.8519
80-84	91	103	103	102	100	1,880	0.0531	0.9469	0.7613
85歳以上	214	183	203	205	201	1,502	0.1340	0.8660	0.4870

女	死亡数				期間平均	期間平均人口	期間平均死亡率	期間平均生残率	5年生残率
	2013 平成25年	2014 平成26年	2015 平成27年	2016 平成28年					
総数	568	552	562	575	564	73,389	0.0077	0.9923	0.9621
0-4	1	2	2	0	1	2,797	0.0004	0.9996	0.9978
5-9	1	0	0	0	0	2,517	0.0001	0.9999	0.9995
10-14	0	0	0	0	0	2,364	0.0000	1.0000	1.0000
15-19	0	1	1	1	1	2,541	0.0003	0.9997	0.9985
20-24	0	2	1	0	1	3,964	0.0002	0.9998	0.9991
25-29	0	1	1	1	1	5,282	0.0001	0.9999	0.9993
30-34	3	5	0	1	2	5,887	0.0004	0.9996	0.9981
35-39	3	6	3	1	3	5,985	0.0005	0.9995	0.9973
40-44	8	2	5	3	5	6,176	0.0007	0.9993	0.9964
45-49	5	9	11	7	8	5,445	0.0015	0.9985	0.9927
50-54	7	7	7	12	8	4,744	0.0017	0.9983	0.9913
55-59	9	15	11	16	13	3,961	0.0032	0.9968	0.9840
60-64	19	18	11	15	16	4,042	0.0039	0.9961	0.9807
65-69	23	20	13	27	21	4,315	0.0048	0.9952	0.9762
70-74	23	25	30	24	26	3,661	0.0070	0.9930	0.9657
75-79	47	44	50	46	47	3,303	0.0142	0.9858	0.9312
80-84	85	83	83	96	87	2,971	0.0292	0.9708	0.8623
85歳以上	334	312	333	325	326	3,435	0.0949	0.9051	0.6074

注釈) 本調査時点での人口動態統計の最新値は平成 28(2016)年である。

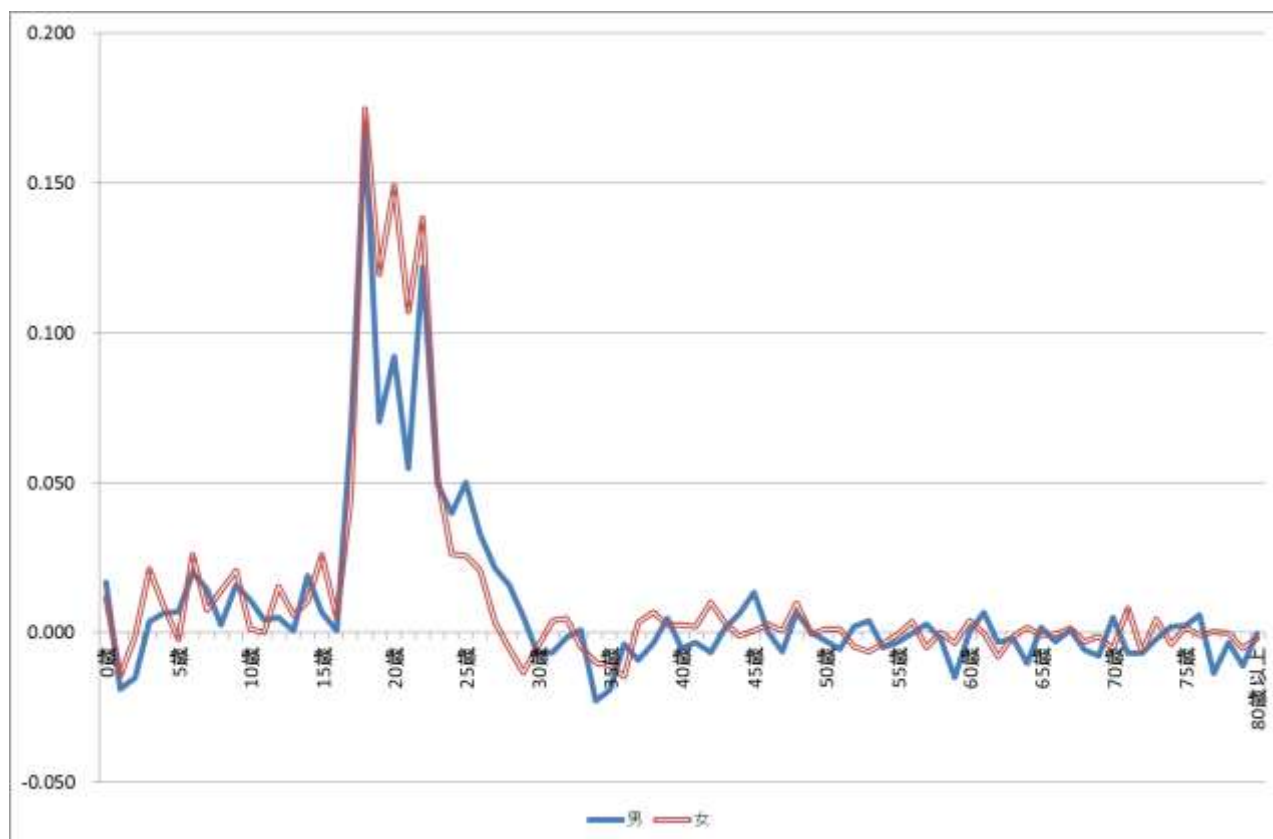
資料) 東京都「人口動態統計」より作成

④移動要因の設定

純移動率については、出生と死亡の設定をふまえ、趨勢期間を対象とした人口方程式によって算出した。

純移動率が正の値の場合は転入が転出より多いことを表し、負の値の場合は転出が多いことを表す。

図表 9 算出された純移動率



資料) 武蔵野市資料等より作成

⑤開発要因の設定

趨勢期間においては、市内では大規模開発にあたる 200 戸以上の開発は捕捉されていない。一方で、平成 30 (2018) 年にはプラウドシティ武蔵野三鷹 (320 戸) の分譲が予定されているため、開発インパクトとして平成 31 (2019) 年の人口に 320 戸分 (524 人) の人口を追加した。

(3) 全国的な「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の流れの影響（日本人人口）

まち・ひと・しごと創生法に基づく、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（平成 29（2017）年 12 月）には下記のような記述がある。

＜基本目標②＞地方への新しいひとの流れをつくる（抜粋）

年間 47 万人の地方から東京圏（東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県）への転入者を年間 6 万人減少させ、年間 37 万人の東京圏から地方への転入者を年間 4 万人増加させる。こうした東京圏から地方への新たな「ひと」の流れづくりにより、東京圏からの転出者と、東京圏への転入者を均衡させ、東京一極集中の流れを止めることをめざす。

2020 年時点で東京圏から地方への転出・転入を均衡

→現状：2016 年 11 万 7,868 人転入超過

この「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標によれば、2 年後の平成 32（2020）年には東京圏外との転出入が均衡する。

しかしながら、東京圏への転入超過数は平成 23（2011）年以来 5 年ぶりに減少した平成 28（2016）年から一転、若干の増加に転じている現状からも、平成 32（2020）年に実現されるとは考えにくい。

政策の効果が表れるにはまだ一定の時間がかかるものと考えられるため、今から 10 年後の平成 40（2028）年に東京圏から地方への転出・転入が均衡し、以後この状態が継続すると設定して推計する。

具体的な推計方法としては、直近の平成 29（2017）年の性別 5 歳階級別転入数で「東京圏（東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県）」の全国に占める割合を算出し、転出数でも同様に算出して平均をとり、現在の純移動率が 10 年後（平成 40（2028）年）以降はその比率まで低下すると設定して算出する。具体的な比率は、転入・転出の全体で平均すると 75%となる。

当面 5 年間（平成 35（2023）年まで）は趨勢の純移動率とし、その後の 5 年間（平成 40（2028）年まで）は趨勢と 10 年後（平成 40（2028）年）以降の設定の平均とする。

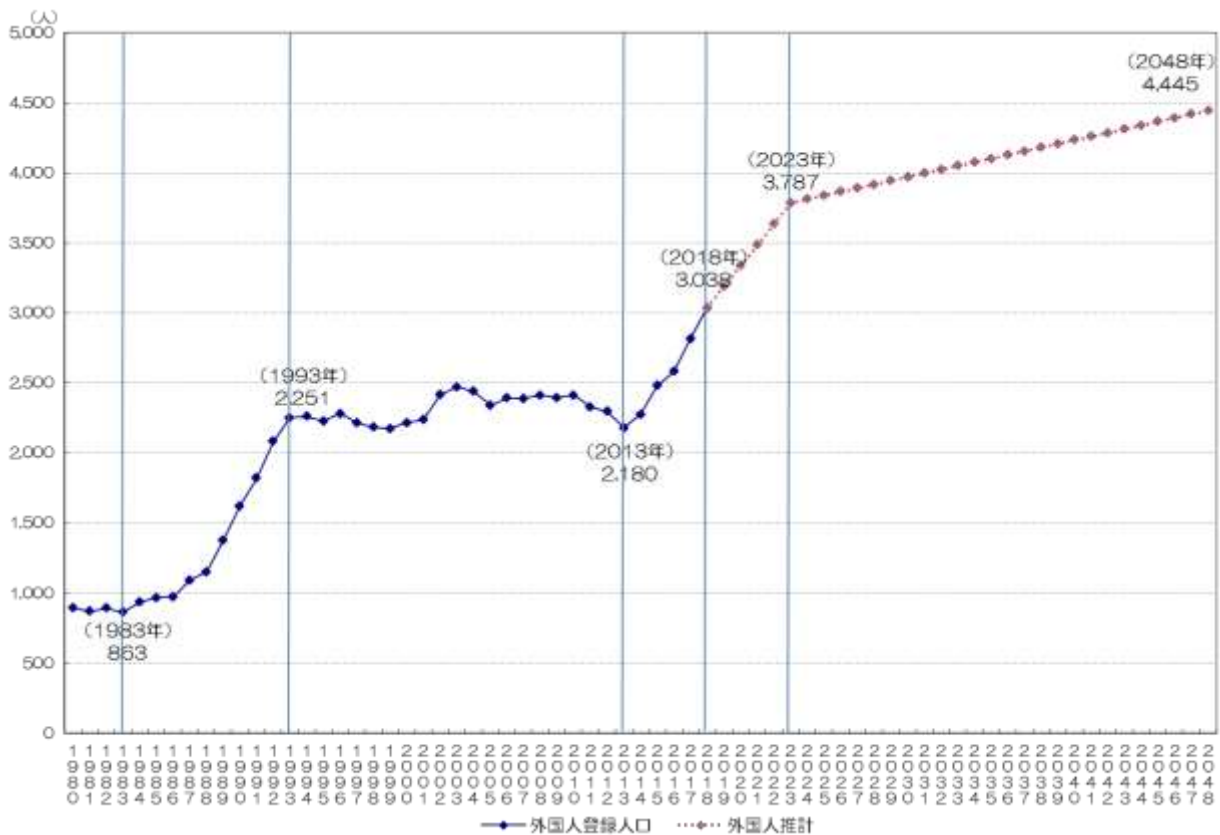
(4) 外国人人口

武蔵野市の外国人の推移については、10年間の人口拡大期の後、20年間の人口横ばい期、5年間の人口拡大期を経て、現在に至っている。

従って、今後についても、5年間の拡大期の後、20年間の横ばい、5年間の拡大という動きを予測することができる。但し、外国人人口については、影響を受ける社会経済環境について未確定な部分が多いため、平成35(2023)年までの直近5年間の拡大期の後には、推計最終年次の平成60(2048)年に向かって徐々に増加すると見込む。

その結果、平成30(2018)年には3,038人であった外国人は、平成60(2048)年には4,445人になると見込まれる。

図表 10 将来人口（外国人人口）



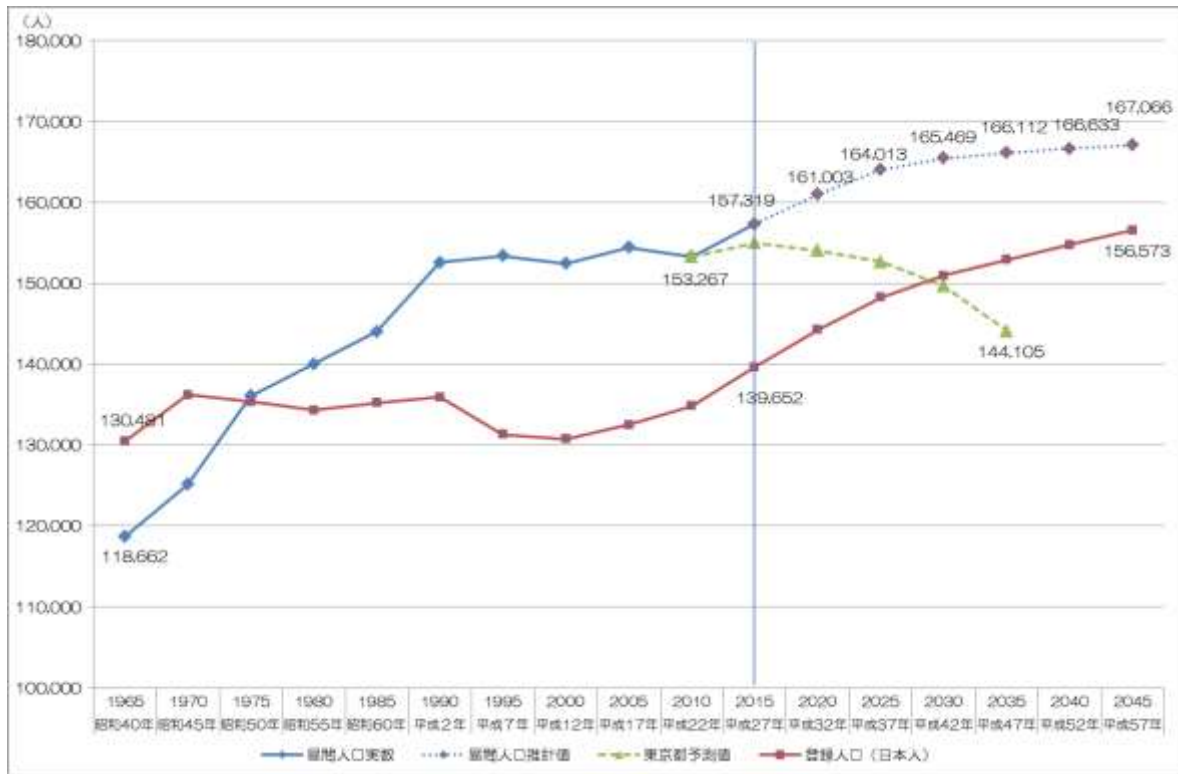
注釈) 実績値については平成24(2012)年以前は住民基本台帳人口に外国人人口が含まれていないため、前年末の外国人人口をもって表記している。平成25年以降は住民基本台帳による外国人人口。

(5) 昼間人口

昼夜間人口比率が低下を始めた平成7（1995）年以降の昼夜間人口比の変化率を乗じて、将来の昼夜間日本人人口対昼間人口比を算出し、将来人口に乗じて昼間人口を求めた。

今後も住民登録日本人人口に対する昼間人口比は低下していくものの、住民登録日本人人口が増加することから、昼間人口は微増で推移し、平成57年（2045）年に167,066人に達すると見込まれる。

図表 11 昼間人口の推移と将来見通し



	昭和55年 1980	昭和60年 1985	平成2年 1990	平成7年 1995	平成12年 2000	平成17年 2005	平成22年 2010	平成27年 2015	平成32年 2020	平成37年 2025	平成42年 2030	平成47年 2035	平成52年 2040	平成57年 2045
昼間人口 (～2015実数、 2020～推計)	140,035	143,994	152,586	153,379	152,425	154,448	153,267	157,319	161,003	164,013	165,469	166,112	166,633	167,066
調査人口	136,910	138,783	139,077	135,051	135,746	137,525	138,734	144,730	/	/	/	/	/	/
昼夜間人口比	1.02	1.04	1.10	1.14	1.12	1.12	1.10	1.09	/	/	/	/	/	/
登録人口（日本人）	134,337	135,223	135,923	131,310	130,747	132,515	134,862	139,652	144,244	148,271	150,941	152,899	154,766	156,573
昼間人口/登録人口比	1.04	1.06	1.12	1.17	1.17	1.17	1.14	1.13	1.12	1.11	1.10	1.09	1.08	1.07

注釈) 平成32（2020）年以降は独自推計。昼夜間人口比＝昼間人口÷調査人口。図表11の「登録人口」は各年1月1日現在の住民基本台帳人口

資料) 総務省統計局「国勢調査」、「東京都昼間人口の予測（平成27年3月）」、武蔵野市資料より作成

参考) 昼間人口とは、就業者または通学者が従業・通学している従業地・通学地による人口であり、従業地・通学地集計の結果を用いて算出された人口である。また、夜間勤務の者、夜間の学校に通っている者も便宜上昼間就業者・昼間通学者とみなして昼間人口に含めており、昼間人口には買物客などの非定期的な移動については考慮していない。（東京都ホームページ「平成27年国勢調査による東京都の昼間人口」より）

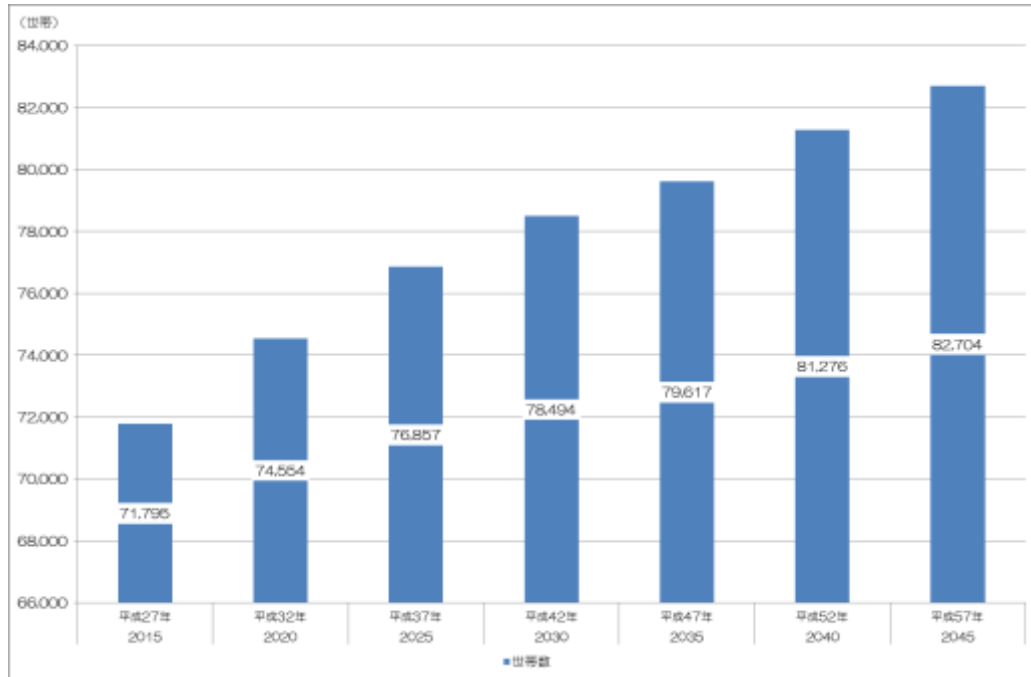
(6) 世帯

平成 27 (2015) 年国勢調査を用いて、性別年齢別の世帯主率を作成し、将来人口に乗じること
で世帯数及び類型別世帯数を算出した。

国勢調査における世帯数は増加基調にあり、昭和 60 (1985) 年に 51,434 世帯だったところ、
平成 27 (2015) 年には 73,960 世帯となっている。

今後も世帯数は増加を続けて、平成 57 (2045) 年には 82,704 世帯になると見込まれる。

図表 12 世帯数の推移と将来見通し



資料) 総務省統計局「国勢調査」、武蔵野市資料より作成

図表 13 類型別世帯数の推移と将来見通し

	基準人口	推計人口					
	2015 平成27年	2020 平成32年	2025 平成37年	2030 平成42年	2035 平成47年	2040 平成52年	2045 平成57年
世帯数	71,795	74,554	76,857	78,494	79,617	81,276	82,704
単独世帯	35,386	36,579	37,688	38,485	39,024	39,893	40,491
	49.3%	49.1%	49.0%	49.0%	49.0%	49.1%	49.0%
核家族	33,656	35,106	36,111	36,715	36,961	37,367	37,822
	46.9%	47.1%	47.0%	46.8%	46.4%	46.0%	45.7%
夫婦のみ世帯	12,219	12,717	13,137	13,579	14,002	14,591	15,156
夫婦と子世帯	16,933	17,310	17,377	17,124	16,651	16,425	16,281
ひとり親と子世帯	4,503	5,079	5,597	6,012	6,308	6,351	6,384
高齢者単独世帯 (単独世帯のうち)	8,421	9,256	9,905	10,866	12,128	13,389	14,504
高齢者世帯主夫婦のみ世帯 (夫婦のみ世帯のうち)	5,857	6,213	6,421	6,791	7,348	8,191	8,961

資料) 総務省統計局「国勢調査」、武蔵野市資料より作成。平成 27 (2015) 年の基準人口は、住民基本台帳人口に
対応した世帯数の推計値 (国勢調査における世帯数とは異なる)。

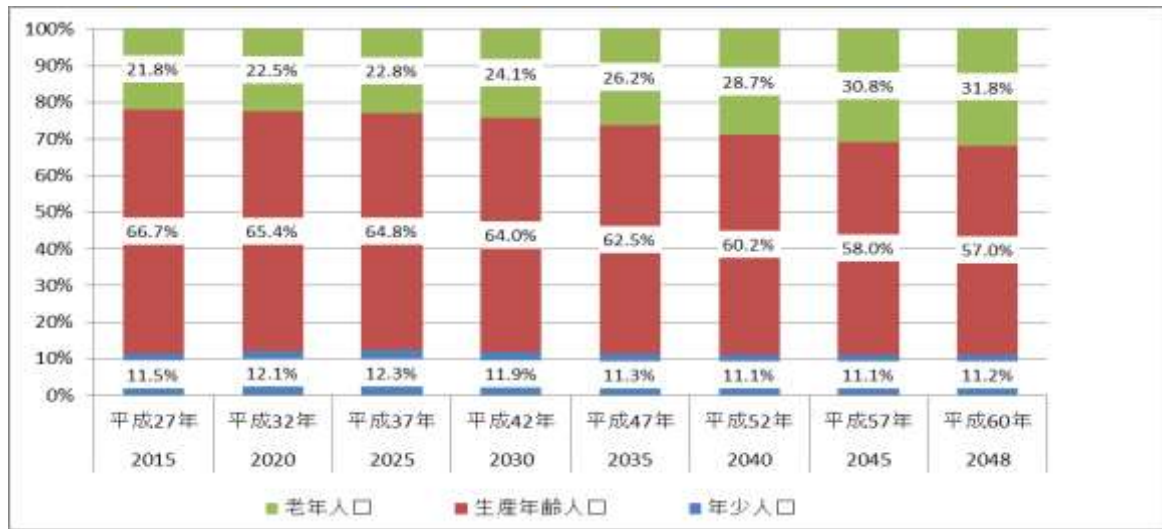
(7) 年齢3区分別人口

老年人口は増加傾向が続き、平成 27 (2015) 年には 30,511 人 (21.8%) の老年人口 (比率=高齢化率) は、平成 60 (2048) 年には 49,989 人 (31.8%) に達すると見込まれる。一方、年少人口は、平成 27 (2015) 年の 16,035 人 (11.5%) から、増減を経て、平成 60 (2048) 年には 17,610 人 (11.2%) になると見込まれる。また生産年齢人口は、増減を経ながらも期間全体を通じては減少傾向にあり平成 27 (2015) 年の 93,106 人 (66.7%) から、平成 60 (2048) 年には 89,742 人 (57.0%) まで低下すると見込まれる。

図表 14 将来年齢3区分人口



図表 15 将来年齢3区分人口比率



図表 16 将来年齢3区分人口・比率表

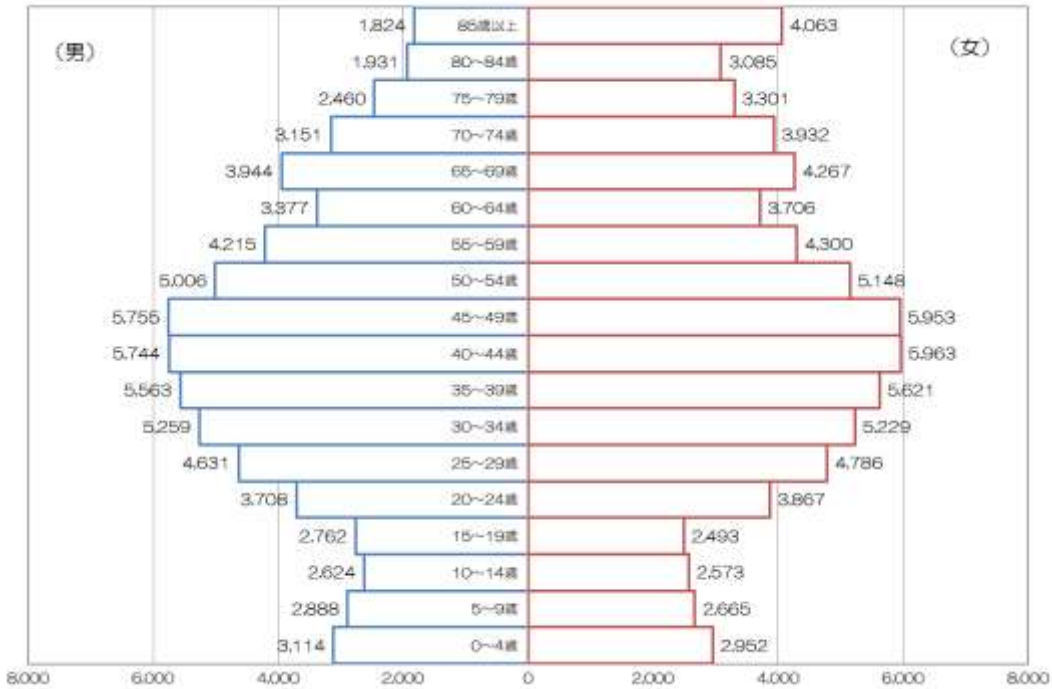
(人)	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2048
(比率)	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年	平成57年	平成60年
老年人口	30,511	32,413	33,873	36,424	40,032	44,463	48,282	49,989
	21.8%	22.5%	22.8%	24.1%	26.2%	28.7%	30.8%	31.8%
生産年齢人口	93,106	94,317	96,120	96,615	95,583	93,119	90,841	89,742
	66.7%	65.4%	64.8%	64.0%	62.5%	60.2%	58.0%	57.0%
年少人口	16,035	17,514	18,279	17,902	17,284	17,184	17,450	17,610
	11.5%	12.1%	12.3%	11.9%	11.3%	11.1%	11.1%	11.2%
計	139,652	144,244	148,271	150,941	152,899	154,766	156,573	157,341

参考) 国立社会保障・人口問題研究所における平成 29 (2017) 年推計 (出生中位 (死亡中位)) によると、平成 60 (2048) 年には、全国としては、老年 37.4%、生産年齢 52.0%、年少 10.6%になる。

(8) 性別年齢別人口

平成 30(2018)年時点では、男女ともに 40 歳代が多く、10 歳代が少なくなっている。また、10～14 歳に比べて 5～9 歳が多く、5～9 歳に比べて 0～4 歳が多くなっており、ここ 10 年間ほどで出生数が上昇していると考えられる。

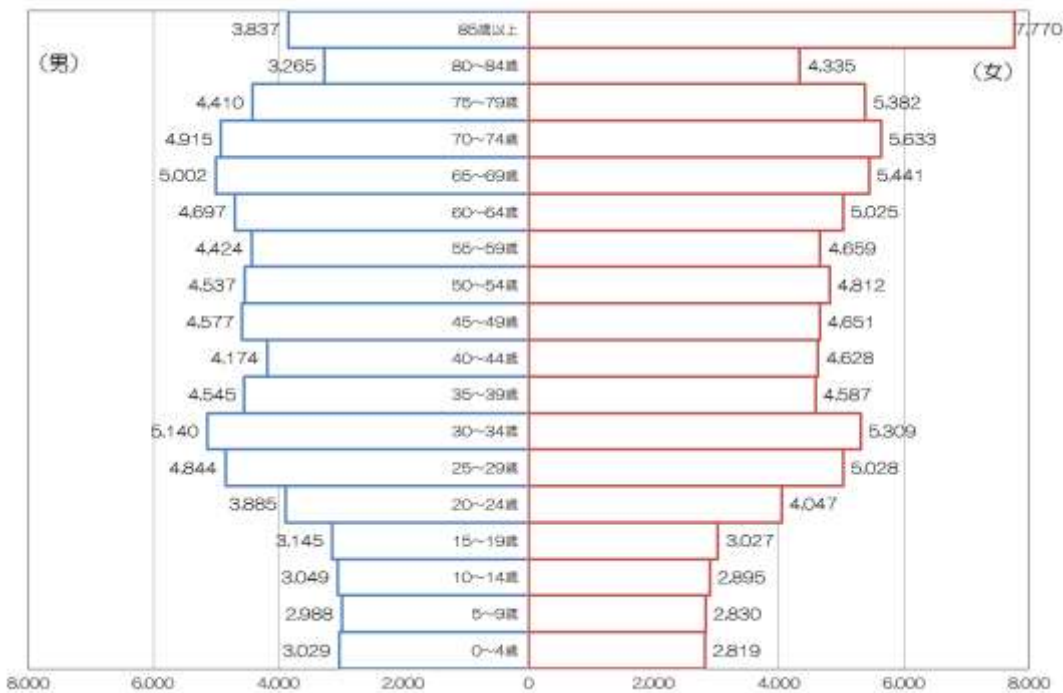
図表 17 5 歳階級別人口ピラミッド (平成 30 (2018) 年)



注釈) 平成 30 (2018) 年 1 月 1 日の住民基本台帳人口。日本人人口。

30 年後の平成 60 (2048) 年には、平成 30(2018)年時点と比較して 60 歳代～70 歳代の人口が多くなっている。また、85 歳以上の女性が多くなっている。

図表 18 5 歳階級別人口ピラミッド (平成 60 (2048) 年)



注釈) 平成 60 (2048) 年 1 月 1 日の住民基本台帳人口。日本人人口。

3. 0～14歳人口における過去の推計と実績について

図表 19 0～14歳人口における過去の推計と実績

0～14歳人口	2013 平成25年	2014 平成26年	2015 平成27年	2016 平成28年	2017 平成29年	2018 平成30年	2019 平成31年	2020 平成32年	2021 平成33年
①26年推計（1/1時点、日本人）			15,858	16,069	16,193	16,278	16,345	16,339	16,313
②28年推計（5/1時点、総人口）					17,038	17,473	18,017	18,352	18,580
③30年推計（1/1時点、日本人）							17,227	17,514	17,755
④実績（1/1時点、日本人）	15,129	15,597	16,035	16,438	16,612	16,816	17,029		
⑤実績（1/1時点、日本人）伸び率		1.03	1.03	1.03	1.01	1.01	1.01		
⑥実績（5/1時点、総人口）	15,541	15,985	16,397	16,627	16,904	17,144	17,194		
⑦実績（5/1時点、総人口）伸び率		1.03	1.03	1.01	1.02	1.01	1.00		
⑧26年推計と実績の乖離状況（①－④）				▲ 369	▲ 419	▲ 538	▲ 684		
⑨28年推計と実績の乖離状況（②－⑥）					134	329	823		

注釈）平成 31（2019）年の④、⑥「実績」については、平成 30（2018）年 7 月 1 日時点の数値を掲載している。

4. 今後の推計頻度について

人口推計については、今後は一定の基準（おおむね総人口の 1 % 程度）を設けて、推計から一定の基準以上乖離した場合には、推計の見直しを行う。

今後、武蔵野市において策定する各種の個別計画については、直近の人口推計結果を参考に作成することを原則とする。但し、新たな人口推計結果によって既に策定済みの計画を見直すことは原則として行わない。